

日本医師会 意見広告

今、日本には、加齢が原因の難聴者は
1500万人以上。*

聴力の衰えは意外に早く、40代から進みます。

加齢による難聴は、認知症をひきおこす

最大のリスク要因となることも、わかってきました。

だから、早めに対策を。

※ 65～74歳では3人に1人、75歳以上では半数以上が加齢性難聴です。

「聞こえにくい…」それは認知症予防への第一歩。

3つ以上あてはまったら、
かかりつけ医に相談を。

加齢性難聴 チェックポイント

- 音は聞こえるが、言葉が聞き取りにくい
- 静かなところでは会話ができるが、騒がしいところでの聞き取りが悪い
- 会話中に聞き返すことがよくある
- 後ろから呼ばれても気づかないことがある
- 聞き間違いが多い
- 見えない所からの車の接近に気づかないことがある
- 話し声が大きいと言われる
- 電子音など、高い音が聞こえにくい
- 相手の言ったことを推測で判断することがある
- 大きい音がかえってうるさく感じる
- 早口が聞き取りづらい
- 家族にテレビやラジオの音量が大きいと言われることがある

監修：一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会

かかりつけ医をもちましょう



日本医師会
Japan Medical Association

<http://www.med.or.jp>



11.1 いい医療の日